



2004年12月19日

日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

43-0468(福田)  
42-2462(鈴木)

二〇〇四年 第4回定例市議会

## 福田明市議の一般質問から

12月議会での福田明市議の一般質問の概要を紹介します。

### ●市の財政を破壊する「三位一体」

「福田明議員」いわゆる「三位一体」が本市の財政に及ぼす影響について、①補助金の削減額はどのようなものが対象となりその試算はいくらか。②地方交付税の削減額の試算はいくらか。③市長の「三位一体改革」に対する考え方をうかがう。

「市民福祉部長」 補助金は生活保護費などで約1800万円、地方交付税の削減は約1億2000万～1億3000万円になると試算している。

「市長」 税源移譲が少なく不満である。真の地方分権になるよう市長会や県を通じて働きかけていきたい。

「福田議員」 このような地方自治体の財政を破壊する「三位一体改革」には強く反対すべきである。

### ●他市で好評「住宅リフォーム助成」

「福田議員」 「住宅リフォーム助成制度」は、いわき市や常陸太田市で実施されている。常陸太田を例にとると、住宅のリフォームを市内業者に発注する場合、10万円以上の工事を対象に工事金額の10%を助成する(上限は10万円)もので、初年度の今年、500万円の予算でスタートした。10月25日現在、申請件数48件、助成額400万円を超え、工事額は8700万円で経済波及効果

## 絵で伝えよう！ 町のたからもの

ふれあいセンターで絵画展



「絵で伝えよう！ 町のたからもの」絵画展が、ふれあいセンターで開かれています。主催は北茨城ユネスコ協会。23日まで。

は21倍といわれている。同市の担当課は「評判がよく、12月議会では400万円の補正を組んで議会に提出した」と述べている。沈んだ本市の経済に希望の一石を投じるためにも、来年度ぜひ実現すべきである。

「環境産業部長」 受注形態や市の財政を見極めて対応したい。

### ●市内巡回バスの昼間の増便を

「福田議員」 市内巡回バスは市民に喜ばれているが、昼間のバスの増便(現在週2～3日)をしてほしいという要望も高い。たとえば華川町の山下からタクシーに乗ると磯原まで約1600円かかる。「スーパーで安売りしても買いにいけない。月曜～金曜まで増便してほしい」との声が出されている。他の地域でも同様である。市民の要望に沿う形でぜひ昼間のバスを増便すべきである。

「市長公室長」 よりいつそう充実させていきたい。

### ●乳幼児医療費の無料化を

「福田議員」 乳幼児の医療費の無料化は県内各地ですすみ、市独自の無料化制度がないのは県内では鹿島市と北茨城市だけという情けない状態である。高萩市では来年度から1歳引き上げて4才未満まで無料化する方向である。本市としても他市同様に乳幼児の医療費を無料化すべきである。

「市民福祉部長」 現行どおり半額助成を行なっていきたい。

### ●下水道の見通しと大規模団地への接続

「福田議員」 下水道は来年秋に第一期工事の神岡、旧磯原の地域が供用開始される見込みだが、第二期工事の見通しはどのようなになっているのか。また、中郷ニュータウンや大津浜道団地、五浦団地など大規模住宅団地の汚水処理場について、自治会や住民から市の公共下水道への接続、移管が要望されてきたが、市の考え方をうかがう。

「都市建設部長」 平成19～20年に二期工事の認可申請をした。大規模団地については周辺地域まで整備されたら接続したい。

### ●明德小の備品の入札辞退なぜ

「福田議員」 新築された明德小での教育備品の購入契約について、7月に行なわれた3件の入札(窓下傾斜書架、多目的テーブルなど)で、指名した8社のうち6社が辞退した。8月の入札(教師用保管庫外7品目)でも、10社指名して8社が入札を辞退しており、競争入札の体をなしていない。この不況下でほとんどの業者が入札を辞退するとは常識的に考えられない。なぜ、このようなことが起きたのか。

「教育次長」 エコスクールのモデル校としてシックハウスを防ぐため設計段階から建材を厳しく選定したのが原因だと思う。